

平成18年1月31日

高等学校

校長

殿

財団法人 日本高等学校野球連盟

会長 脇 村 春 夫

選抜大会出場校に自覚ある行動を望む

今般、第78回選抜高等学校野球大会の出場校として選出されたことを心からお慶び申し上げます。野球部関係者はもとより在校生や地域の皆さんも甲子園出場を祝福されていることと思います。

ところで、ご承知の通り昨年夏の全国高等学校野球選手権大会前後に野球部員や指導者の暴力事件が発覚し、その後も不祥事が続きました。野球を通じて社会に役立つ立派な青少年を育成するという、高校野球本来の目的を考えると寒心に堪えない事態でした。

我々連盟役員だけでなく、高校野球に携わる関係者が等しく無念の思いを噛みしめているところでもあります。最近の世相の変化を受けて青少年の指導に難しさがあるのは確かですが、是非、今大会出場校は野球部員である前に高校生であることを自覚し、節度ある行動を切に要望するものです。

また、指導者は熱意のあまり体罰に及ぶという事例も多くありました。17年4月から今年・18年1月までの審議委員会で審議の対象となった不祥事の件数は実に817件に上ります。

昨年の選手権大会前後の事件を契機に些細な不祥事でも発生後いち早く事後措置がとられたともいえますが、何としても健全な高校野球を目指すうえで不祥事を撲滅したいと心から願っています。

第78回選抜高等学校野球大会の出場校の皆さんが、最近の不祥事続発の危機を払拭する爽やかな活躍を収められるよう希望いたします。どうか選抜大会出場の朗報の重さをしっかりと受け止め、改めて野球部関係者の自覚ある行動を促されるよう、ご指導方よろしく願いいたします。